

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人かたばみ会	代表者	酒井 学	法人・事業所の特徴	事業所は光ヶ丘の高台に位置し、窓からは海岸線も見え、日本海に沈む美しい夕日を眺めることができる。住み慣れた自宅です。いつでも過ごすことができるように、生活リハビリや必要な介護をご家族と一緒に作り上げています。また、重度の要介護状態になっても同法人で運営する特別養護老人ホームかたばみ荘と連携を図り、支援が可能。
事業所名	多機能施設かたばみ荘	管理者	村上 意知朗		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各利用者家族に事業所に対する意識調査アンケートを実施し、結果を共有して運営に反映させていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果から課題を明らかにしたり改善に向けた検討がされていて良いと思いました。アセスメント、利用者の状態、背景を把握するのは必要だと思うので、情報収集に取り組んでもらいたいと思いました。</li> <li>利用者からの情報収集は、医師がおこなう問診と同じであると思いますので、十分に時間を掛けて欲しいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>きめ細かな「自己評価」へ全職員が意欲的に取り組んでいると思います。様々な課題などを外部委員に説明する取り組みに感心しています。</li> </ul>	<b>地域との関わりや人間関係についての情報をエコマップに集約し、活用できていない地域資源を洗い出すことで、地域での暮らしの支援に繋げていく。</b>
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所での活動が閉鎖的にならないよう、利用者を変えた玄関ポーチの掃除や花の水やりに努め、活動が外部に見える施設を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一印象が大切だと思いますので、玄関、入室時明るく感じる環境であって欲しいと思います。花壇、室内の照明などの気配りなどにも心掛けていただきたいと思います。</li> <li>利用者の作品も飾られていて、明るく感じて良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場がもっと広いと良いが、現状で仕方ないと思います。</li> <li>西側の擁壁の管理について、今後ともよろしく願います。</li> </ul>	<b>利用者を変えた玄関ポーチの掃除や花の水やりを継続し、地域に開かれた施設作りに努める。</b>
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍で数年見送っていた、民生委員、利用者家族、運営推進委員をお招きする「地域交流会」を再開する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ以前と同様、または代替りの接点となる機会、取り組みなどはないのでしょうか？</li> <li>地域交流会にはぜひ参加させていただきたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の学区社会福祉協議会との関わりを多くしたいと思います。松陵コミセンにも様々な情報提供をして、地域の福祉施設としれ連携を深めたいです。</li> <li>地域包括支援センターの職員が運営推進委員として参加されている絡みもあるので、心強く感じています</li> <li>地域、家族、民生委員の方と接点が少ないと感じる職員がいる中で、ゴミ捨てなど利用者の方への支援を通じて地域住民の方と関わる機会が増えたといった声もあったようです。</li> <li>毎年、松陵いこいの場へ参加いただきありがとうございます。</li> </ul>	<b>利用者家族に了承を得た上で、担当地域の民生委員との関係性を築き、地域一帯で利用者の在宅生活を支えていく。</b>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	近隣に住む友人知人の支援を受けている独居の方が多いため、訪問時や電話連絡などで情報共有を図り、本人の暮らしを共に支えていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場に答えがあると云われます。情報は近隣住民とと思っています。</li> <li>…独居の方の近隣住民との協力体制について報告し、運営推進委員の方々(4名)から改善計画について取り組んでいるとの評価をいただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松陵学区の各自治会との関わりも大切にしたいです。松陵学区コミュニティ振興会にもアプローチしていただきたいと思っています。</li> <li>地域で関わっている方で心配な方がいれば教えていただきたいと思っています。</li> </ul>	<b>送迎および訪問時に地域の方との関わりを密にし、利用者の在宅生活を共に支えていく。</b>
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の地域での取り組みや、送迎訪問時に見聞きした地域の問題を運営推進会議内で報告し共有を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な課題なども率直にお話しさせていただいてありがたいです。</li> <li>…運営推進委員の皆様(5名)から、運営推進会議で事業所の取組みが解かりやすく説明されているか、について評価をいただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進会議のメンバーとして関係団体にも啓発を頑張ります。</li> <li>地域で気になる方がいらっしゃれば(包括支援センターに)遠慮なく教えてください。</li> </ul>	<b>送迎および訪問時、近隣住民の方との関わりを密にし、地域の課題が聞かれた際は運営推進会議にて共有していく。</b>
F. 事業所の防災・災害対策	委員の皆様から事業所の防災訓練の状況を確認していただき、また、事業所として市の総合防災訓練にも参加していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>…昨年の11月に計画した消防署員立ち合いでの非常災害訓練は消防署との日程調整が付かなかったため、2月末か3月初めに実施予定であることを第5回運営推進会議の場で委員の皆様へ報告している。日程が決まり次第、運営推進委員の皆様へ参加のご案内をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域防災の関係団体との連携も大切になってくるかと思われます。例えば、松陵学区「自主防災」等との連携もあっていいのかもしれない。</li> </ul>	<b>消防立ち合いの非常災害訓練へ運営推進委員の皆様へ参加、見学して頂く。</b>